

科目名	日本語		英文表記	Japanese		2014.3.10			
科目コード	4012								
教員名:玉城あゆみ 技術職員名:						作成			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科			4年	選	履修	1単位	講義	前期	
科目目標	技術者としてのコミュニケーションに十分な日本語の語彙・表現を身につけ、総合的なコミュニケーション能力を高める								
総合評価	前期評価を、定期試験(中間・期末)の平均(80%)+課題(20%)で行い、60%以上を合格とする。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法			目標割合	
	①	日本語による文章の構成を理解し、論理的に考察することができる。			⇒	読み物を正確に読解し、論理的に考察することができるか、定期試験および演習等の課題で評価する。		50%	
	②	日本語能力試験N1相当の語彙・表現の知識を増やす			⇒	高度な語彙・表現が身についているか、定期試験および演習等の課題で評価する。		50%	
	③								
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	◎		○	JABEEプログラム教育目標	C-5	C-1	C-4	C-2
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		80	0	0	20	100			
基礎的理解		60				60			
応用力(実践・専門・融合)		20				20			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					20	20			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修上の注意	日本語で書かれたさまざまな文章を読むことを通して学習活動に必要なコミュニケーション能力を育成し、日本語能力試験N1相当の力をつける。 授業では主に読解演習を行って読み方のスキル向上をめざし、内容に関するディスカッションで考察を深める。また、毎回日本語能力試験N1相当の漢字・語彙の課題も課し、その提出状況も評価する。								
教科書・教材	『新完全マスター読解 日本語能力試験N1』福岡理恵子ほか(スリーエーネットワーク) 『日本語能力試験対策 日本語総まとめN1漢字』(アスク) 『日本語パワードリルN1文字・語彙』(アスク)								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	コースインフォメーション、復習	2	履修内容概観、前学期の確認(JLPTのN1を使ってレベルチェック)	演習課題	
2	文章のしくみを理解する	2	①対比 / N1漢字5週目3・4日	演習課題	
3	文章のしくみを理解する	2	②言い換え / N1漢字5週目5・6日	演習課題	
4	文章のしくみを理解する	2	③比喩 / N1漢字6週目1・2日	演習課題	
5	文章のしくみを理解する	2	④疑問提示文 / N1漢字6週目3・4日	演習課題	
6	文章の細かい部分を読み取る	2	⑤指示語を問う / N1漢字6週目5・6日	演習課題	
7	文章の細かい部分を読み取る	2	⑥「誰が」「何が」などを問う / N1漢字7週目1・2日	演習課題	
8	前期中間試験(行事予定で変更可)	2	以上の習熟度を評価	総復習	
9	文章の細かい部分を読み取る	2	⑦下線部の意味を問う / N1漢字7週目3・4日	演習課題	
10	文章の細かい部分を読み取る	2	⑧理由を問う / N1漢字7週目5・6日	演習課題	
11	文章の細かい部分を読み取る	2	⑨例を問う / N1漢字8週目1・2日	演習課題	
12	全体をつかむ	2	⑩全体的な内容を尋ねる問い / N1漢字8週目3・4日	演習課題	
13	実践問題	2	⑪内容理解(中文) / N1漢字8週目5・6日	演習課題	
14	実践問題	2	⑫内容理解(長文)	演習課題	
15	実践問題	2	⑬主張理解(長文)	演習課題	
期末	期末試験	[2]	以上の習熟度を評価		
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験				
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
① 語彙・表現文法・読解などの演習課題を解く。				各1時間×12回	
② 既習項目の復習をし、与えられたテーマに沿った応用練習を行う。				各1時間×3回	
③					
備考欄					
<p>・ この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。</p>					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)